

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	植物化学調節学会2017（平成27年）第50回大会
演題名	微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> の内生ジャスモン酸の測定と機能解析
発表者	○加瀬大地※[1]、加藤翔太[1,2]、湯本絵美[1,2]、横田孝雄[1,2]、山根久和[1,2]、石川孝博[3]、篠村知子[1,2] [1]帝京大学大学院・総合理工学研究科、[2]帝京大学理工学部、[3]島根大学生物資源科学部 (※H26年度植物分子細胞学研究室卒研究生)
内容	<p>微細藻類<i>Euglena gracilis</i> (和名：ミドリムシ、以下<i>Euglena</i>と略す)の細胞内には、植物ホルモンの一種であるジャスモン酸が存在することは報告されているが、その機能は未だ明らかではない。本発表では<i>Euglena</i>に存在するジャスモン酸の生理機能の解析を目指し、<i>Euglena</i>細胞をさまざまな環境で内生ジャスモン酸量の経時変化を解析した。その結果、高等植物では活性型とされるジャスモン酸イソロイシンを<i>Euglena</i>は持つこと、光環境や培養の経過に応答して内生ジャスモン酸量を変化させることが分かり、<i>Euglena</i>に存在するジャスモン酸は細胞増殖の調節に関与している可能性が示唆された。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H26年度の本研究室の卒研究生で本学大学院に進学した大学院生や学内外の研究者と共同で行った。</p>
関連画像	